

2018.1.16 <計2枚>

立命館大学広報課

学生が近江八幡市の地方創生に関わる「理想のまちづくり計画」を提案
地域の魅力や将来のまちづくりイメージをポスターセッションで発表

立命館大学理工学部環境システム工学科(※1)に在籍する学生 80 名は、近江八幡市の持続可能な地域づくりについて、将来の理想のまちづくりを考える報告会を開催いたします。

この取り組みは、当学科の開講科目「環境管理調査実習Ⅰ」(※2)の一環で、市や自治体が抱える環境問題の動向を理解し、計画的に課題解決する力を身につけることを目的に実施しています。今回は近江八幡市をフィールドとしました。古くから城下町として栄え、観光地として知られている近江八幡市は、宿泊する観光客の減少、人口減少や高齢化による空き町家・空地の増加などの課題を抱えています。それらの課題に対して、近江八幡市の地方創生に資する理想のまちづくりについて提案を行います。学生は、これまで近江八幡市について知識を深め、調査準備、現地調査から見えてきた課題の整理・検証などを行い、各班に割り振られた特定地域の地区整備計画(ハード・ソフト)を検討してきました。計画提案は、近江八幡市の地方創生にふさわしい、明確なテーマ(別紙)を掲げ、地域資源を活かす方策を盛り込むことを意識し、地域住民の課題を踏まえることを基本としています。

企画実施にあたっては、まちづくり会社まっせ・近江八幡商工会議所・京街道商店街振興組合・近江八幡市学区まちづくり協議会・近江八幡まちや倶楽部・近江八幡観光物産協会など近江八幡市の関係者にフィールドワークの案内や近江八幡市の解説などのご協力を頂きながら、学生がまちづくりコンセプトの図解と地図を使った地域の魅力づくりの方針や 3D で描いた将来の魅力的な施設整備と活動のイメージをポスターで発表します。発表後は、近江八幡市の関係者や教員、さらに学生相互に評価を行い、優秀なプランを選出します。選出されたプランは、実際に近江八幡市のまちづくりの参考とされます。本授業を通して、「答え」のない課題に対し、他者と協力しながら計画を実行できる学生を養成します。

記

日時:2018年1月18日(木) 13:00~16:10

場所:立命館大学びわこ・くさつキャンパス エポック立命 21

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

内容:学生80名が12班に分かれ、ポスターセッション形式による近江八幡市のまちづくり提案

※詳細は別紙をご覧ください。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL. 075-813-8300

<http://www.ritsumeai.ac.jp/>既存の枠を超えて未来をつくり出すこと
それが立命館のアイデンティティー**Beyond Borders**

別紙

当日のスケジュール

- 13:00～13:30 ポスターインデキシング
・各班で2つのプロジェクターを使った呼び込みプレゼンテーションを実施。
1つはスライド、1つは動画または3Dのアニメーションを用いて発表。
- 13:40～14:30 前半ポスターセッション
- 14:40～15:30 後半ポスターセッション
・各班は2チームに分かれて、前半・後半で発表者・聴き手となる。
- 15:40～16:00 講評、優秀上位3班と、近江八幡市関係者の視点から選ぶ特別賞の表彰を実施

対象地とテーマ

京街道商店街の活性化:京街道商店街・西京街道商店街、願成就寺、小幡駐車を再整備
吉田邸の活用:町家をリノベーションした吉田邸と八幡堀・日牟禮八幡宮馬場を活用
近江八幡まちや倶楽部の活用:仲屋町(すわいちょう)の造り酒屋をリノベーション
八幡小学校を避難所とする防災まちづくり:地震自主防災の避難路を確保し避難所を運営
福祉のまちづくり:八幡コミュニティセンターから日牟禮八幡宮馬場の間に福祉空間を創出
自転車のまちづくり:近江八幡駅と旧八幡市街地を自転車にやさしい空間へと創出

※1 立命館大学理工学部環境システム工学科について

環境システム工学科では、総合的な立場から環境問題に取り組んでいくことができる技術者としての能力を養います。そのために、科学と工学の基礎を身につけた上で、環境保全技術、環境動態解析、リスク評価、物質・エネルギー循環などを系統的に学び、卒業後は環境・都市系を中心に様々な分野で活躍の場を広げています。

※2 環境管理調査実習Ⅰについて

環境問題の動向を理解(把握)し、計画的に改善する能力を教育目標とする科目。デザイン(創成)型の授業として、課題対象となる地域について、①対象地域の理解と現地調査の準備、②現地調査、③対象地域の課題整理と計画提案のアイデア出し、④計画提案の作成、⑤プレゼンテーションを行います。